

他都市の展示収蔵施設 (参考事例)

他都市の展示収蔵施設

事例1： 岐阜関ヶ原古戦場記念館

事例6： 大野城心のふるさと館

事例2： 高知県立高知城歴史博物館

事例7： 静岡県富士山世界遺産センター

事例3： 神戸市立博物館

事例8： 肥前さが幕末維新博覧会

事例4： 松江市立松江歴史館

事例5： 下関市立歴史博物館

施設名	岐阜関ヶ原古戦場記念館				
設置者	岐阜県	所在地	岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55		
開館年	2020年10月	施設規模	延床面積5,176㎡、展示面積1,554㎡、 収蔵庫 約150㎡	観覧料	有料(高校生以上)
施設概要	420年前にこの地で起きた「関ヶ原の戦い」を体感し、誰にでも解りやすく伝える古戦場めぐりの拠点として、遠くからでもわざわざ来なくなる「圧倒的な存在感」を放つ施設を目指し整備されました。グラウンドビジョンで戦いの経緯を解りやすく紹介した後、続く大画面オーバルスクリーンのシアターでは迫力と没入感のある戦いを体感することができます。また、常設展示室の他、どなたでも楽しむことのできる体験コーナー、館内で学んだ戦いの場が眼前に広がる眺望室も設け、古戦場周遊のきっかけを提供しています。				
展示構成	【グラウンドビジョン、シアター】関ヶ原の戦い にいたるまでの流れとその規模の大きさ、関ヶ原の戦い 【展示室(常設/企画)】戦国時代からその後まで 【戦国体験コーナー】戦国武将なりきり体験 【展望台】関ヶ原古戦場のパノラマビュー 【広域観光情報コーナー】古戦場や岐阜県周遊のための情報				

常設展示/企画展示



1

グラウンドビジョン

巨大な床面スクリーンで全国を舞台とした東西陣営のスケールの大きな戦いを俯瞰できます。(約8分)



2

シアター

縦4.5m、横13mの楕円型スクリーンで大軍団の激突が展開される大迫力映像。風や振動、光と音の演出により、あたかも合戦当日の関ヶ原にまぎれ込んだかのようなリアルな体験ができます。(約9分)



3

展示室 (常設/企画)

当時の様子を窺い知ることができる武器や武具、古文書・地図などを展示しています。1階でのバーチャルな体験をより広く深い理解へと導きます。



4

戦国体験コーナー

武具を実際に触ってみたり、関ヶ原合戦屏風を背景にした写真撮影などもできます。



5

展望台

最上階からは、関ヶ原古戦場全体を見渡し、1階と2階で体感した、臨場感を重ね合わせることができます。



6

広域観光情報コーナー

古戦場めぐりの総合案内が置かれ、史跡ガイドやレンタサイクルの申し込みができます。また、県の観光情報を紹介しています。

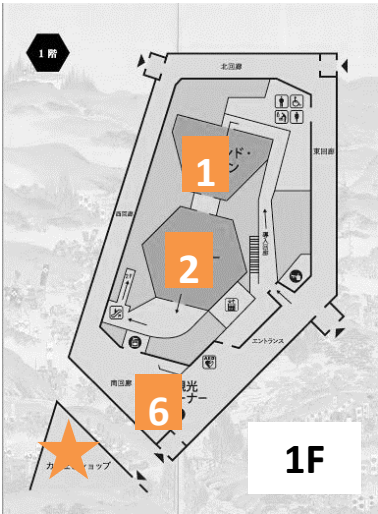
ショップ/カフェ (別館)



記念館に隣接した、岐阜県産品と戦国・歴史グッズを販売する施設です。岐阜県産品には「関の刃物」「美濃の和紙」など歴史に培われた伝統と文化、高いモノづくり技術に裏打ちされた品質があります。
また、「ここでしか買えない」岐阜関ヶ原古戦場記念館オリジナルのグッズを200種以上揃えています。



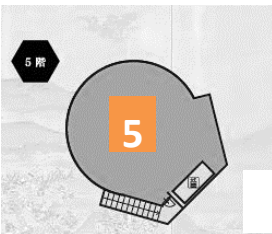
関ヶ原の戦いに参戦した武将をイメージしたオリジナルメニューをはじめ、地元の方々が日常的に利用していただける一般的なメニューを提供しています。



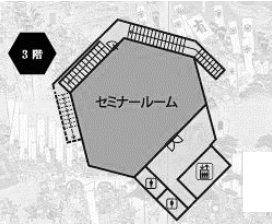
1F



2F



5F



3F

施設名	高知県立高知城歴史博物館				
設置者	高知県	所在地	高知県高知市追手筋2-7-5		
開館年	2017年	施設規模	延床面積6,220㎡、展示面積797㎡、 収蔵庫 約999㎡	観覧料	有料(18歳以上)
施設概要	土佐藩山内家及び高知県ゆかりの資料を守り、伝えることを目的として高知城のふもとに開館しました。一括して残る大名家資料の山内家資料群は、歴史資料や美術工芸品を中心に、国宝や重要文化財を含め、約6万7千点に及びます。そのような資料の特性から、博物館でありながら美術館的要素を併せ持つ館内で、それら本物の資料に出会える感動や知る喜びを存分に感じられるよう、鑑賞環境を最優先しながらも、「武家」のたたずまいを感じる空間を構築しています。				
展示構成	【情報コーナー】城下町や高知県周遊のための情報 【導入展示】古代から現代までの大年表と土佐の絵地図 【総合展示】土佐藩の歴史、高知城のしくみ、大名道具の世界、江戸時代の美術と文化（60日を目安に資料を全点入れ替え） 【特別展示】テーマ例：地域展 仁淀川、大名墓をめぐる世界 そのすべて 【体験コーナー】戦国武将なりきり体験 【土佐史探索室】プログラム例：春風亭昇太高知城を攻める、山内家伝来の品々～ほんものを守り伝える～、美への扉を開く～国宝・重要文化財鑑賞入門～ 【展望ロビー】高知城のパノラマビュー				

常設展示



1

城下町情報コーナー

かつて城下町としてさかえた高知市中心部の歴史や史跡、見どころを映像と情報端末で紹介しています。散策マップを手に城下町散策へと誘います。



2

高知県情報コーナー

高知県内各地域の歴史文化の魅力と情報を紹介しています。映像の上映、イベント情報マップ、情報端末に加えて、各地域のパンフレットなども備えています。



3

導入展示室

古代から現代までの大年表と土佐国の絵地図にかこまれた展示室への入り口です。



4

総合展示室Ⅰ 通史展示
（土佐藩の歴史）

江戸時代の土佐藩、高知県を概観します。模型やデジタルコンテンツで高知城の見どころもわかりやすくご紹介しています。



5

総合展示室Ⅱ テーマ展示
（江戸時代の美術と文化）

甲冑や刀剣、能面、茶道具などの大名道具の世界、土佐の学者や文人の著作・書画などの土佐の文化をご紹介します。



6

体験コーナー

体験用の兜や陣羽織などを身につけることができます。お城をバックに記念撮影もできます。



8

土佐史探索室

土佐の歴史や高知城の魅力を紹介する5つの映像を、大型スクリーンや一人用の端末で見ることができます。



9

高知城展望ロビー

美しい高知城と追手門の姿、さらに山内一豊の姿を大パノラマで一望できます。

企画展示



7

特別展示室

季節ごとに時代やジャンル・テーマ設定を変え、様々な企画展を開催しています。



ショップ/カフェ

図録・パンフレットなどの書籍や収蔵資料をモチーフにしたオリジナルグッズ、県産品グッズ等を中心に、博物館ならではの商品を販売しています。



アンティーク風の落ちついた店内からは高知城を眺めることができます。こだわりのコーヒーをはじめ、軽食、デザート、ドリンクをご提供しています。



3F
2F
1F

4

「まちに開かれたミュージアム」を目指して大改修。
1階の展示室やカフェなどは無料開放し、気軽に立ち寄れるミュージアムに変身。
2・3階はこれまでの数多くの企画展実績をより一層充実させ、可変性の高い展示室を構築。

施設名	神戸市立博物館				
設置者	神戸市	所在地	兵庫県神戸市中央区京町24番地		
開館年	1982年 (2019年リニューアル)	施設規模	延床面積10,073㎡、展示面積3,065㎡、 収蔵庫 約930㎡	観覧料	1F/無料 2F/有料(大学生以上)
施設概要	ブランドショップやカフェが立ち並び、観光客や買物客で賑わう旧居留地に位置する「神戸市立博物館」。建物は、国登録有形文化財(建造物)として登録されている歴史的建造物で、昭和初期の名建築と言われています。こうした立地・建物特性に対し、“まちに開かれたミュージアム”というコンセプトのもと、文化交流および文化発信機能を充実させるため、昭和57年(1982)の開館以来初となる常設展示の全面リニューアルを行いました。				
展示構成	【神戸の歴史展示】神戸の通史 神戸の海・港を介して産まれた人や文化の交流の実態と、それが歴史に与えた影響 【コレクション展示】国宝「桜ヶ丘銅鐸・銅戈」、重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル像」、 「美術」「びいどろ・ぎやまん・ガラス」「古地図」「考古・歴史」の各分野では、期間ごとにさまざまなテーマで展示 【特別展示】テーマ例：神戸源平巡りー『平家物語』の舞台を訪ねてー、日本を歩いて測った男 伊能忠敬 【地域文化財展示】テーマ例：旧居留地と近代建築、神戸の平家物語 【情報コーナー】映像ライブラリ、神戸の歴史マップ、コレクション検索、描かれた神戸、写された神戸				

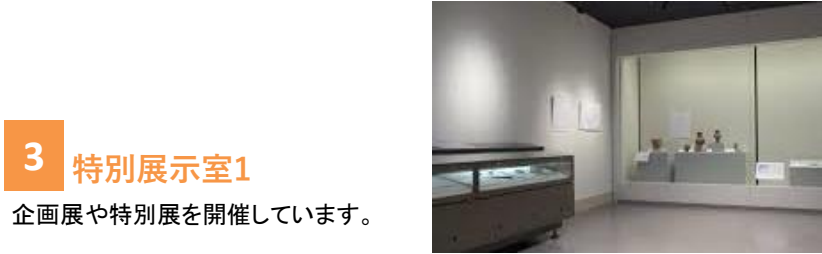
常設展示/企画展示



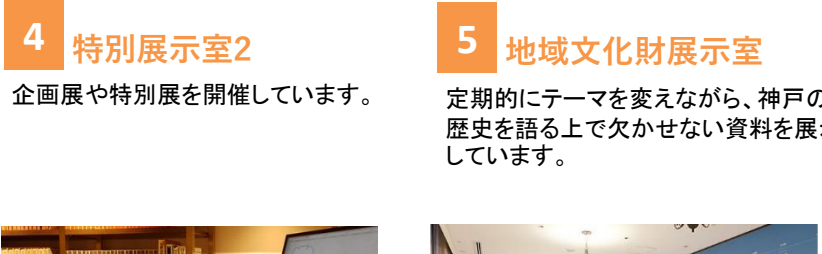
1 神戸の歴史展示室
神戸の街に面する1階を入場無料のゾーンとすることで、街の賑わいを取り込んで施設の利用を促すと同時に神戸の通史を紹介することで、街とミュージアムが相互に作用する場を築いています。



2 コレクション展示室
有料の2階展示室では、これまでの常設展示では一部しか公開できなかった国宝を含む国内有数の貴重なコレクションを、最新の展示設備と手法で精緻に展示しています。わかりやすく伝えるとともに、見応えのある展示空間となっています。



3 特別展示室1
企画展や特別展を開催しています。



4 特別展示室2
企画展や特別展を開催しています。



5 地域文化財展示室
定期的にテーマを変えながら、神戸の歴史を語る上で欠かせない資料を展示しています。



6 情報コーナー
厳選された書籍を配架するとともに、3台のタッチパネル式PCにより、ここならではの情報コンテンツを利用することができます。



7 体験学習室
自由に触れて楽しく学べるツールがあり、「作る」「体験」するワークショップも開催しています。

ショップ/カフェ



カフェの特別室は、リニューアル前に展示資料として扱われていた照明や家具などで明治時代の異人館「トムセン邸」を復元した、ミュージアムならではの空間です。



モダンな意匠で生まれ変わったミュージアムショップとカフェ。昭和初期の建築を活かした空間のなかで、蔵書を自由に読むこともできます。

ゾーニングは、誰にでも解りやすく松江の歴史を概観できる「概覧展示」と、各テーマを深掘りした「詳覧展示」で構成。見学者それぞれの興味に応じてじっくりと資料に接することができる。建築は武家屋敷をモチーフとした本格的な和建築。

施設名	松江市立松江歴史館				
設置者	松江市	所在地	島根県松江市殿町279番地		
開館年	2011年	施設規模	延床面積4,204㎡、展示面積1,042㎡、 収蔵庫＋特別収蔵庫 約619㎡	観覧料	有料(小学生以上)
施設概要	松江開府400年を記念して松江城近隣に整備された歴史資料館です。映像・模型等を駆使して城下町の形成をわかりやすく解説した「概覧展示」、松江に花開いた文化・産業等について実物資料を中心に紹介する「詳覧展示」により、今日の観光都市・松江の礎となった近世の城下町の姿を生き生きと伝えています。中心的機能を担う観光施設として、また市民の憩い・学習の場として、まちづくりの新たな拠点となることをめざしています。				
展示構成	【基本展示】近世を中心とした城下町松江の歴史・文化 【企画展示】テーマ例：松江藩と絵図ー花開いた地図の世界ー、戦国の世を馳せた武将 堀尾吉晴、松平不昧ー茶のころ				

常設展示

1 基本展示室

松江藩政や城下町の形成、城下の人々の暮らし、藩財政を支え松江を全国有数の富裕藩にした産業などを紹介します。大きなゾーニングとしては、中央部の「概覧展示」と周囲の「詳細展示」に分かれ、実物資料を展示するほか、映像や音声を使ってわかりやすく紹介しています。

概覧展示

各テーマの中から特徴的な内容を取り出し、模型や映像などの訴求力の高い手法を使用する



松江城下の模型

詳細展示

展示テーマに沿った実物資料など、専門家の鑑賞にも堪えるしっかりとした資料を中心に構成する。



壁面ケース展示

企画展示

2 企画展示室

年間を通して、松江をより深く知ることができる企画展、テーマ展を開催しています。



ショップ/カフェ

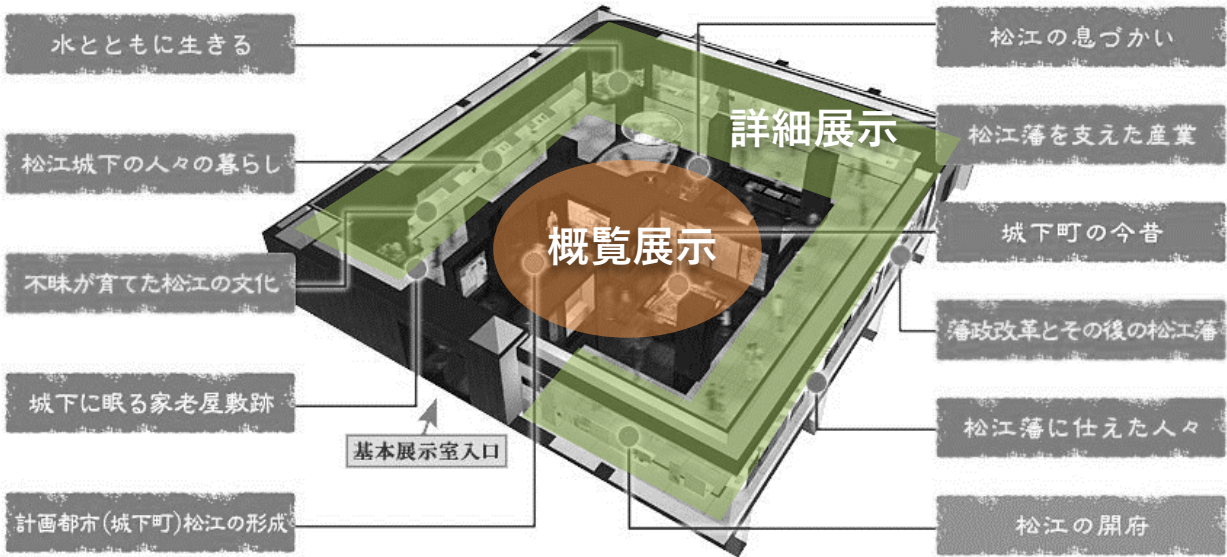


図録や松江の歴史や文化に関する各種出版物を販売するほか、地元作家を中心に仕入れた和小物や和雑貨、松江ならではの「茶の湯の文化」を感じる銘茶や、特選和菓子、当店オリジナルブランド「えにしずく」関連グッズなどを販売しています。



上生菓子と、干菓子を楽しむセットメニューや、各種甘味、コーヒーなどを提供しています。席では、松江城を望みながらお茶を楽しめます。晴れた日には、喫茶前の濡れ縁に、畳を敷き、和のオープンカフェも開設しています。

施設概要図



1F 施設概要図



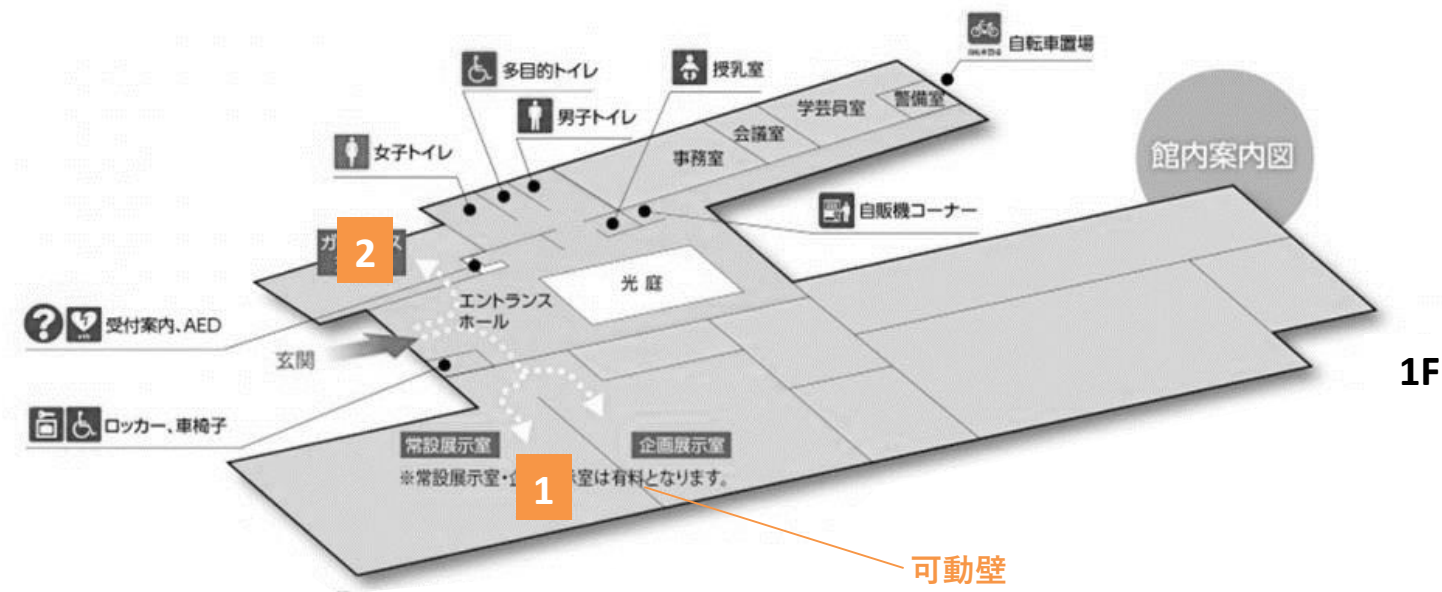
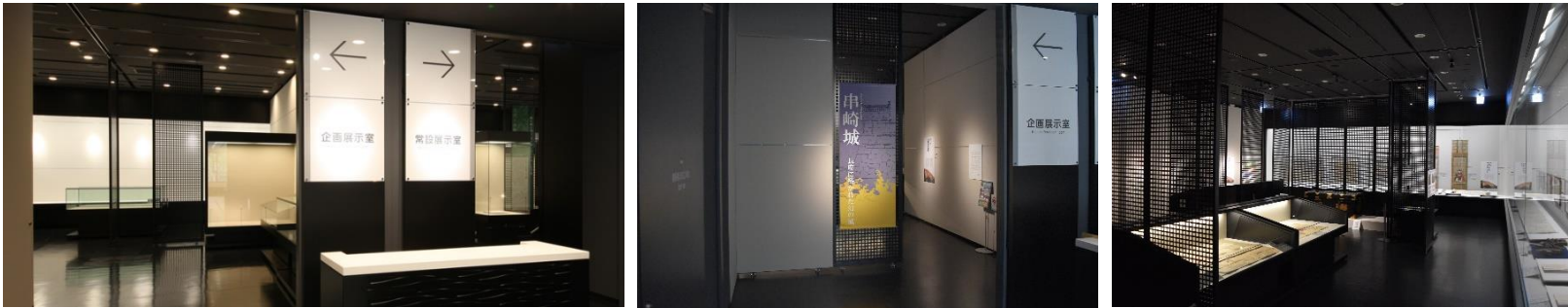
6

施設名	下関市立歴史博物館				
設置者	下関市	所在地	山口県下関市長府川端2-2-27		
開館年	2016年	施設規模	延床面積1500㎡、展示面積483㎡、 収蔵庫＋特別収蔵庫 約246㎡	観覧料	ガイダンス交流室/無料 常設・企画展示室/有料(19歳以上)
施設概要	下関と周辺地域にかかわる歴史資料の収集・調査研究および展示活動を行っていた旧長府博物館が老朽化したことを受けて新築された博物館。 「海峡に育まれた下関の歴史と文化」をテーマとし、長府毛利家遺品のほか、高杉晋作・坂本龍馬など幕末に活躍した偉人たちの書状、愛用品など江戸・幕末維新期の展示を中心に展開しています。坂本龍馬資料の収蔵数は日本一を誇ります。また、下関市内の文化財や観光等の情報を提供するガイダンス交流室展示や、下関に関する特定のテーマを抽出した特別展示なども行います。				
展示構成	【常設展示】近世と幕末維新を中心に下関の歴史を古代から現代に分けて紹介 【企画展示】テーマ例：特別展 海峡に魅せられた幕末の英傑、企画展 串崎城－長府に築かれた幻の城 【ガイダンス交流展示】周辺情報の見どころやイベント、年表				

常設展示/企画展示

1 常設/企画展示室

可動型の什器や2種類の可動間仕切りを用いることで、フレキシブルな展示が行えます。常設展示室企画展示室が一体になっているため、企画展開催時には、そのボリュームに合わせて展示規模を調整することも可能です。



2 ガイダンス交流展示室

周辺情報や年表、博物館が収蔵する資料の情報を検索する機器があります。また、市内各施設の情報、イベント、見所などの基本情報を閲覧することもできます。スクリーンを用いて講座なども行われています。

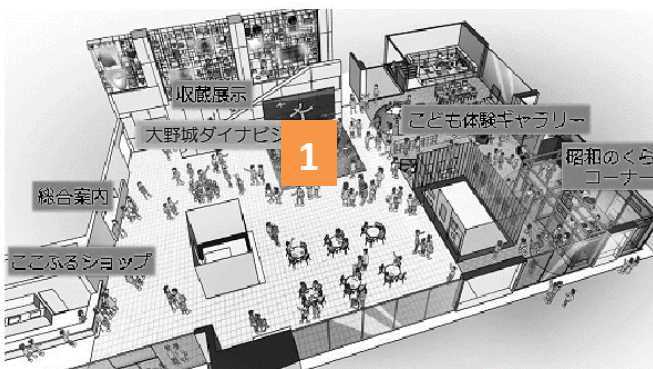
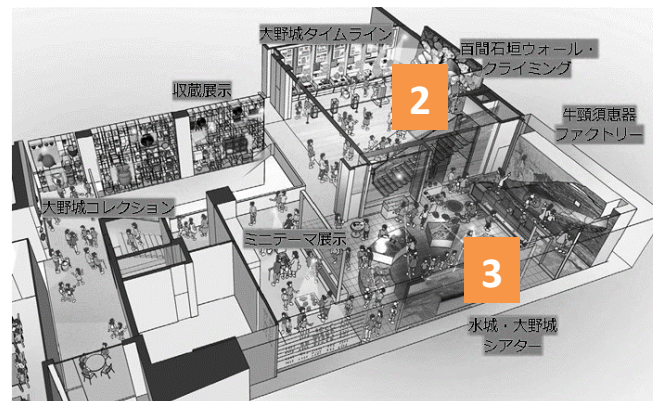
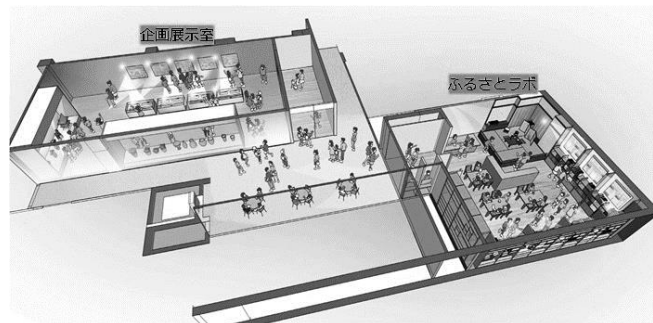


施設名	大野城心のふるさと館				
設置者	大野城市	所在地	福岡県 大野城市曙町3丁目8-3		
開館年	2018年	施設規模	延床面積3,417.15㎡、展示面積 約550㎡、 収蔵面積 258㎡	観覧料	無料(特別展は有料)
施設概要	「歴史」・「こども」・「にぎわい」をキーワードとした市民ミュージアムです。 旧石器時代から近現代までの文化財の展示解説など歴史・民俗を中核とした展示機能を備えた施設であるとともに、充実した体験コーナーがあり、様々なイベントが開催されるなど多様な利用目的で、世代を超えた交流を深めることができます。まちのにぎわいづくりにつながる事業活動を展開しています。				
展示構成	【1階】「楽しく学ぶ」まちとつながる交流・展示:ジョーホール(交流スペース)、大野城ダイナビジョン、こども体験ギャラリー、昭和のくらしコーナー、ここふるショップ 【2階】「広く学ぶ」 歴史とつながる交流・展示:大野城タイムライン、百間石垣ウォール・クライミング、水城・大野城シアター、牛頸須恵器ファクトリー、ミニテーマ展示 【3階】「深く学ぶ」人・未来へつながる交流・展示:企画展示室、ふるさとラボ 【特別展・企画展】テーマ例: 国宝 翰苑の世界 歴史教科書でみる考古名品				

常設展示

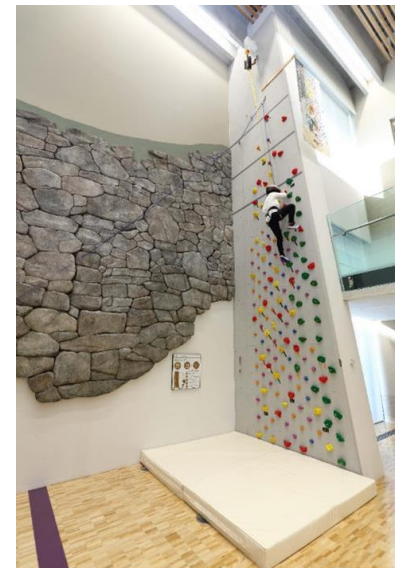
1 大野城ダイナビジョン

1階に設置された180インチの大画面モニター。大野城市の歴史や観光情報の紹介、キャラクターと遊べるインタラクティブなコンテンツなどが用意されています。また、床面マップと連動したARアプリで地域情報を提供します。



2 百間石垣ウォール・クライミング

大野城跡の「百間石垣」の一部を原寸大で再現。隣にはその高さを体感できる7mのクライミングコーナーが併設されています。



3 水城・大野城シアター

映像や復元模型へのプロジェクションマッピングで、史跡の成り立ちに迫ります。模型を備付けのライトで照らすと、当時の情景が浮かび上がります。



3F

2F

1F

施設名	静岡県富士山世界遺産センター				
設置者	静岡県	所在地	静岡県富士宮市宮町5-12		
開館年	2017年	施設規模	延床面積約3,400㎡、展示面積 約1,220㎡、 収蔵面積 約84㎡	観覧料	有料(大学生以下・70歳以上・障がい者等 無料(要証明))
施設概要	2013(平成25)年6月にユネスコの世界文化遺産に登録された「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えてゆくことを目的とし、学術調査機能を併せ持つ拠点施設として整備されました。展示棟の1階から5階までらせん状のスロープでつながっており、壁面に映し出された富士山のタイムラプス映像を見ながら富士登山を疑似体験できます。本物の富士山に出会い、世界遺産「富士山」について学ぶ、「富士山」を満喫する体験を提供しています。				
展示構成	【映像シアター】「天の巻」(四季折々の富士山の映像)、「地の巻」(信仰の対象、芸術の源泉としての富士山)、「宙(そら)の巻」(上空からの富士山) 【常設展示】「登拝する山」「荒ぶる山」「聖なる山」「美しき山」「育む山」「受け継ぐ山」 【企画展】テーマ例：家康＋富士山-新発見「富士三保清見寺図屏風」をめぐる一考察-、表富士-東海道、眺めのいい街道(みち)-				

常設展示

5

2

3

4

6

3

2

1

展望ホール
Observation Hall

企画展示室
Temporary Exhibition

研修室
Lecture Room

カフェ & ミュージアムショップ
CAFE & MUSEUM SHOP

映像シアター
Movie Theater

富士山ライブラリー
Library

案内所
Information

屋外展示
Outdoor Exhibition Space

1

スロープ 登拝する山

壁面に投影される映像を楽しみながら、1階から5階まで全長193mのらせんスロープを上ることで、富士登山を疑似体験できます。



2

映像シアター

265インチスクリーンと4K画質のプロジェクターを設置し、美しい富士山の映像が楽しめます。(3番組、それぞれ約8分間)



3

展望ホール

本物の富士山を一望できる展望ホール。



4

常設展示

活火山としての富士山、富士山への信仰、芸術の源泉としての富士山、自然環境など、映像やタッチパネルなどを使って富士山を多角的に紹介しています。



施設名	肥前さが幕末維新博覧会				
設置者	肥前さが幕末維新博推進協議会	所在地	佐賀県		
開館年	2018年3月 - 2019年1月	施設規模	幕末維新記念館(市村記念体育館):延床面積4,318㎡ リアル弘道館(旧古賀家):延床面積534.34㎡ ※茶室等を除く 葉隠みらい館(旧三省銀行):延床面積269.72㎡ ※蔵を除く ※展示面積は非公表	観覧料	有料(高校生以下無料)
施設概要	2018年、明治維新150年を契機に、佐賀の偉業や偉人を顕彰し、「志」を今に活かし未来につないでいくことを目的として「肥前さが幕末維新博覧会」が開催されました。メインパビリオンである「幕末維新記念館」、テーマ館である「リアル弘道館」「葉隠みらい館」をはじめ県内各地で関連するイベントや展示が行われました。				
展示構成	【幕末維新記念館】「幕末維新」体感シアター、「技」からくり劇場、第三場「人」賢人ラウンドシアター、「志」ことのは結び 【リアル弘道館】弘道館の一日、弘道館おもしろ探検マップ、大隈重信メモリーズ 【葉隠みらい館】葉隠ことばのシアター、葉隠ヴァーチャル体験、ディスカバー my HAGAKURE				

幕末維新記念館

1 第一場「幕末維新」体感シアター

大型スクリーンに、幕末維新期の偉人のドラマを投影。風・照明・音響がつくり出す臨場感あふれる映像体験で来場者を惹き込みます。



2 第二場「技」からくり劇場

映像や小道具が演者とライブに絡むクロスメディア演出で、佐賀の「技」を楽しく紐解きます。



3 ブリッジ空間

各場を繋ぐ通路にも、来場者の気持ちを途切れさせないよう、音・照明・グラフィック・映像等による演出を施します。



4 第三場「人」賢人ラウンドシアター

ラウンド型のシアターで、佐賀の七賢人が熱い会話劇を展開。来場者の感動を呼び起こします。



5 第四場「志」ことのは結び

楠の葉をモチーフにした紙に、来場者が自らの「志」をメッセージとして書き残します。



6 さが維新博プラザ

博覧会に関する情報や観光情報を紹介するコーナーです。



リアル弘道館

1 弘道館の一日

グラフィックパネルに近づくと、耳元に装着した音声ガイドから弘道館の一日についての解説が流れます。



2 弘道館おもしろ探検マップ

ボードをかざすと映像が浮かび上がるデジタル装置で当時の藩校の様子を紹介します。



3 大隈重信メモリーズ

ミニシアターで、大隈重信が過ごした弘道館での日々を紹介します。



葉隠みらい館

1 葉隠ことばのシアター

障子型のスクリーンに著名人たちのメッセージが浮かび上がります。



2 葉隠ヴァーチャル体験

葉隠の哲学に基づく華道・書道のヴァーチャル体験ができるコーナーです。



3 ディスカバー my HAGAKURE

古道具の引き出しを開けて質問に答えていくと、今の自分に必要なメッセージが見つかります。

